

## 第5学年 国語科指導案

平成30年11月21日（水）2校時

5年生教室 佐々木 高志

1 単元名 和の文化について調べよう

### 2 単元の目標

複数の本や資料を、目的を意識して読み、伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明することができる。

### 3 学級の実態

本学級の児童は、QUテストの結果から、学級へ満足できている児童とそうではない児童とに分かれている。

本教材は日本の文化について調べて説明するものである。調べるための目的を意識させ、説明する方法を一つ一つ身に付けていくことで説明の仕方が分かり、自分の意見を明らかにする場面を多く設けることで意欲的に学習に取り組めるものとする。

### 4 学習指導計画（総時数 13時間）

時	主な学習内容
1	1 本単元の学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。
2～5 4/13 (本時)	2 説明会を見通して教材文を読み、内容をとらえるとともに、説明の仕方や資料の用いられ方を読み取り整理する。
6～7	3 説明会の取り上げる題材と調べる観点を決め、本や資料から必要な情報を集める。
8～13	4 集めた情報を整理し、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明する内容と構成を考える。 5 「和の文化説明会」を開き、意見を交流する。 6 本単元の学習を振り返る。

### 5 研究主題を受けて

#### (1) つけたい力

- ・いろいろな本や資料を、目的を意識して読む力
- ・伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明する力

#### (2) 主体的・対話的・深い学びの実現に向けて

##### ○主体的な学びのために

この単元では、何をするために(目的)、何を学ぶ必要があるのか(手段)を明確にすることで学習

への意欲を持たせる。また、写真や図表、動画、実物など具体物を提示することで学習への意欲を高められるようにしたい。

##### ○対話的な学びのために

児童にとって身近な内容であり、自分の体験と関連づけて読み進めることができるため、根拠(叙述)と理由を明確にして、ペア・全体での話し合いがすすめられるようにする。また、考えを伝え合う中で、一人一人の感じ方の違いにも気づかせたい。

##### ○深い学びのために

自分の考えの変化に気付いたり、説明会を開くときの参考にしたりすることができるため、黒板やノート、掲示物が視覚的にとらえられるようにする。

### 6 本時の目標と評価

【目標】 ○目的を意識して本論3を読み、書かれている内容を読み取ることができる [読む]

【評価】 ○観点や構成の使われ方に着目して内容を的確に押さえ、自分の考え方を明確にしなが読んでいます。 [発表・ワークシート]

### 7 本時の研究の視点と手立て

#### 視点1 主体的に学ぶための『学びのプラン』

##### ① 主体的な学びにつながる課題の設定

本論3を観点を明確にして、説明の仕方や資料の用いられ方を理解することで文章構成図を作り、説明会に生かすことができるようにする。また、資料について、写真や実物など具体物を提示することで、資料の効果について気づかせたい。

#### 視点2 対話的に学ぶための『学びのスタイル』

##### ① 互いが高まる伝え合う活動の工夫

一人(グループ)がまとめたワークシートをもとに、全体で話し合い、ネームプレートを黒板に貼り、一人一人の考えを明確にする。児童の実態から考えをまとめ、簡潔に意見を述べるのが困難な児童もいるので、まずは自分の考えを明確にすることで、より主体的で対話的な学びとなることが予想される。さらに、児童に問いかけやゆさぶりをかけることで、理由を明確にした言語活動ができるようにする。

#### 視点3 深い学びのための『学びのコーディネート』

##### ① 視覚的に思考過程が分かるためのコーディネート

話し合いの中で児童の疑問や考えをチョークの色分けで表示することにより、児童の思考の広がりや深まりにつながるものとする。また、調べ方や予想を書き込むノート指導により、思考の過程が見えるようにする。